

前回審議会における施策体系に関する指摘事項

委員名	対象項目	主な内容	発言要旨	対応案
1.人材育成・確保に関する意見・要望				
中野委員	方向性① 人材育成戦略の具体化	ターゲット明確化の必要性	ターゲットをどこに絞り込むかという点がまだ明確ではない。ターゲットに応じて必要な人材も変わってくる。 <u>対象に応じた人材育成政策や教育プログラムが重要。</u>	ご指摘を踏まえ、施策編の「具体的取組」において、ターゲット層を明確に区分し、それぞれに対応した具体的な施策を提示いたします。
	方向性① 新規施策項目の追加	エッセンシャルワーカー対策の重要性	観光、交通、農業などの <u>エッセンシャルワーカーにおいても、今後の人口減少により現場のニーズが非常に高まってくる。</u>	ご指摘を踏まえ、施策編の「具体的取組」に、エッセンシャルワーカーを含む幅広い業種における採用支援関連施策を提示いたします。
	方向性① 外部人材の招致施策	外部人材活用の仕組み作り	地域おこし協力隊の人数が、広島県は圧倒的に少ない。 <u>廿日市市に行ったら何か良いことがあるのではないかと思わせるような仕組みがあっても良い。</u>	ご指摘を踏まえ、「地域」の施策編において、人材を呼ぶ取組の一環として「新たな関係人口の創出」を盛り込みました。
上水流会長	方向性① 基本理念・文言修正	多様性と働きやすさの表現	<u>「多様な人材を呼び込み、若者を育み、楽しく働ける」「どのような人でも楽しく働ける場所」といったイメージを強調すべき。</u>	ご指摘を踏まえ、方向性 1 の表現を修正いたしました。
	方向性① 若者支援の基本姿勢	失敗を許容する環境の重要性	若者が様々なことにチャレンジでき、うまくいけばそれが創業や産業振興に繋がっていく一方で、 <u>失敗してもまだリトライできるまちであることも大切</u> ではないか。	ご指摘を踏まえ、創業支援や人材育成の施策を通じて、若者が安心して最初の一步を踏み出し、失敗を経験として活かしながら再挑戦できる環境づくりに取り組みます。
村上委員	方向性① 新規重点施策の追加	外国人労働者支援の制度整備	4 月から特定技能も含めた外国人労働者の届け出制度が始まり、どの企業に何人いるのか分かるようになる。労働力が減っていく中で、 <u>外国人労働者について明確な方針を打ち出すべき</u> ではないか。	ご指摘を踏まえ、施策編の「具体的取組」において、外国人採用支援について盛り込みました。
中村委員	方向性① キャッチフレーズ	世代横断的な参加	<u>全世代の全員で取り組んでいこう</u> 、という姿勢を強調したい。	ご指摘を踏まえ、ビジョン全体の表現や施策設計において、年齢や属性を問わず、市民一人ひとりが地域の産業振興に関わることができることを念頭に置いて検討します。

委員名	対象項目	主な内容	発言要旨	対応案
	方向性①③ 連携施策	インバウンド関連の人材・ビジネス育成	宮島を中心に、外国人観光客がさらに増加する可能性がある。 <u>インバウンド対応に的を絞った人材育成や創業支援</u> を検討してはどうか。	ご指摘を踏まえ、「3-1 観光による地域経済活性化」の具体的取組として追加した「飲食・宿泊施設の魅力向上支援」の取組としてインバウンド対応人材の育成にも取り組みます。創業に関することは、「2-2 事業者の持続的成長の支援」の個別施策「①創業・事業承継支援の充実」にて取り組みます。
2.DX・技術革新に関する意見・要望				
富川委員	方向性② 戦略的転換	抜本的改革の必要性	<u>これまでの人材採用方法や生産性向上の手法から抜本的な改革になっていない</u> ように感じる。DX 化、IT 系、AI 活用など、時代は大きく変化してきている。	ご指摘を踏まえ、「具体的取組」において、デジタル人材に関することを盛り込むとともに、国や県の支援制度と連携して取り組みます。
末次委員	方向性② 独自性の強化	先進性とエッジの効いた施策	観光の基幹産業化以外は、どこの市町村でも当てはまる内容。世界的に GX・DX が急速に進んでおり、 <u>先進的なイメージを打ち出し、エッジの利いた形にできると良い。</u>	ご指摘を踏まえ、「3-3 新たな関係人口の創出」に取り組みます。
中村委員	方向性② 説明手法の改善	具体的効果の明示の必要性	DX を導入することで、何かどのように変わるのか、 <u>一般の市民にも理解できるような打ち出し方</u> が望ましい。	DX の推進に関する施策説明において、技術的な専門用語を避け、市民にとって身近で理解しやすい具体例を用いた表現に統一します。
3.観光・地域ブランドに関する意見・要望				
富川委員	方向性③ 基本概念の見直し	基幹産業化に関する表現の問題	<u>観光の基幹産業化ということは、木材や食品を凌ぐ規模まで発展させることになるが、データを見る限り、それは現実的ではないのではないか。</u>	ご指摘を踏まえ、「観光による地域経済の活性化」へ表現を変更します。
	方向性③④ 統合的アプローチ	廿日市市全体のブランド化	<u>宮島ではなく、廿日市市全体を打ち出すべきではないか。</u> 廿日市市の一部に宮島があるのであり、廿日市市の方を強調したい。	ご指摘を踏まえ、宮島に限らず、市全体の魅力を活かした産業振興を目指していることが明確に伝わる表現に調整します。
	方向性③ 長期滞在型観光戦略	総合リゾート化構想	<u>廿日市市一体でリゾート化できる要素があるのではないか。</u> 外国人は 1 か月ぐらい休暇を取っているが、廿日市市に 1 か月滞在しても、やれることが十分ある。	長期滞在型の包括的なリゾート地は、本市が目指すべき方向性の 1 つであり、ご指摘を踏まえ、個別施策「3-1-②観光客の回遊性向上」として取り組みます。

委員名	対象項目	主な内容	発言要旨	対応案
澁谷委員	方向性④ 全体的なブランディング	廿日市ブランド認知の課題	廿日市には文化、スポーツ、自然もあるが、廿日市という名称と結びつかない。 <u>優れたものと廿日市をどうすれば繋げられるのが、発信の仕方が重要。</u>	「3-1 観光による地域経済活性化」及び「3-2 地域資源の発掘・活用」の具体的取組として、『「けん玉のまち はつかいち」の振興』『「木のまち はつかいち」の深化と展開』等に取り組みます。これらを通じて、市と地域資源が強固に結びついたイメージの構築を目指します。
4.地域資源活用に関する意見・要望				
上水流会長	全方向性の基調表現	自然環境の特徴表現	<u>海、山、森といった、廿日市の特徴を示すような文言を入れることはできないか</u>	ご指摘を踏まえ、表現を再考いたしました。
中野委員	全方向性の基調表現	自然環境の特徴表現	外から人を呼び込むには、 <u>海から山まで体験でき、かつ産業も海から山まであって、ここに来てみたい、住んでみたい、とイメージさせるフレーズ</u> があると良い。	前項と同様に、ご指摘を踏まえ、表現を再考いたしました。
松本委員	全方向性の基調表現	宮島の神の島文化のイメージ活用	厳島神社の神の島というフレーズをよく使っている。 <u>神と一緒に私たちは暮らしている、といったフレーズ</u> に入られると、もう少し違う印象に繋がるのではないか。	宮島の歴史的・文化的背景を象徴する非常に魅力的な言葉であり、地域のアイデンティティを語る上で重要な視点ではありますが、産業振興ビジョンは本市全体を対象としており、地域ごとの特色を個別に反映することが難しいため、検討の結果、宮島地域に特化した表現の採用は見送らせていただきました。
5.産業基盤・制度に関する意見・要望				
中村委員	方向性④基盤整備戦略	交通体系の広域連携	<u>交通インフラの整備が重要で、観光だけでなく、全般的な課題。</u> 廿日市、広島、呉、東広島などが広域連携して、観光振興を図れると良い。	交通インフラの整備は、産業振興ビジョンの範囲を超える課題であり、次期ビジョンには盛り込みませんが、重要な視点として庁内で共有し、関連部署との連携を図ってまいります。広域連携による観光振興についても、今後の施策展開の中で検討してまいります。
夏原委員	方向性②支援体制革新	専門アドバイザー制度の導入	<u>各職種に対し、専門的にアドバイスができる人がいると良いのではないか。</u> 例えば、農業に特化した人にそういう部署に就いてもらい、包括的に指導しながら地域を盛り上げるなど。	ご指摘を踏まえ、「2-2 市内企業の持続的成長の支援」の具体的取組において、専門家による助言体制の構築に取り組みます。

委員名	対象項目	主な内容	発言要旨	対応案
6.構造的課題認識に関する意見・要望				
上水流会長	ビジョン全体の方向性	ビジョン策定の基本姿勢	大きな視点から見て、 <u>現在のビジョンの課題について、廿日市市としてどのように整理されたのか</u> を知りたい。その方が新しいビジョンについて理解しやすくなるのではないかと。	ビジョン編の第2章「廿日市市の現状」の中で、これらを体系的に整理し、新たなビジョンの策定の背景と方向性をより理解しやすく提示します。
	方向性①②統合的施策	異分野連携による新価値創造	違ったものと違ったものの繋がりから、新しいものを生み出していく、 <u>創発的な環境づくりに関する要素</u> が重要ではないかと。	ご指摘を踏まえ、「2-2 市内企業の持続的成長の支援」の具体的取組の「異業種交流会の開催」や「3-3 新たな関係人口の創出」に取り組みます。
7.全体的な表現・文言・理念に関する意見・要望				
末次委員	全体的な表現改革	ワクワク感の不足	<u>廿日市の先進的なイメージや、ワクワク感が十分に感じられない。</u>	ご意見を参考に、ビジョン全体において、廿日市市の独自性と将来への希望を感じられる表現とすることを心掛けます。
澁谷委員	基本キーワードの刷新	ワクワクを超える表現	『ワクワク』はむしろ表現としては陳腐ではないかと。 <u>もっと未来を夢見るような言葉</u> というか、 <u>それを聞いたらワクワクしてくるような言葉</u> が欲しい。	
石濱委員	全体的アイデンティティ	廿日市らしさの明確化	<u>廿日市らしさ、市としての強みの部分をしっかり伝えた上で、施策に繋げていけると分かりやすい。</u>	